

| | |
|-------------|---------------|
| 資 料 提 供 | |
| 平成23年12月15日 | |
| 担当課（担当者） | 企画調整課（松田） |
| 電 話（内 線） | 20-3153（2311） |

ガイナレ鳥取による鳥取市内への経済波及効果の試算について

1. Jリーグ1stシーズンの市内経済波及効果（速報値）

— 市内経済波及効果は6億5,000万円 —

【算定内訳】

| 区 分 | 金額（千円） | 説 明 |
|----------|---------|-------------------------------------|
| ①直接効果 | 403,748 | 市内での直接売上げ総額 |
| ②一次波及効果 | 123,918 | 消費需要に対して市内産業が提供する財・サービスの額 |
| ③二次波及効果 | 122,365 | 上記①と②の売上げによる雇用者所得が消費に回ることによって生じる波及額 |
| 経済波及効果合計 | 650,030 | |

財団法人鳥取地域連携・総合研究センターの試算による

2. 波及効果の計算方法について

（1）観客数

1試合あたりの平均観客数を基に県外客の宿泊と日帰りの比率は1:1と仮定し、按分した。なお、試合数には天皇杯及び東日本大震災チャリティーマッチも含めている。

（2）消費額

- ・ 県内客および県外客の一人当たりの交通費、宿泊費については、平成22年度鳥取県観光客入込実態調査をもとに算出（相手チーム・審判の消費額も同様に算出）。
- ・ 場内での飲食、土産物、観戦後飲食の消費額については、FC東京戦で行ったアンケート調査および運営会社への聞き取りをもとに算出。これらをもとに一人当たり単価と観客数から総消費額を求めた。

（3）波及効果

鳥取市産業連関表（平成12年版）を用いて鳥取市内の間接波及効果を求めた。

※ 参考 直接効果の内訳

| | |
|----------|------------------------------|
| 商業 | 102,794千円（土産物等） |
| 交通 | 83,590千円（観客の交通費及び遠征費） |
| 対事業所サービス | 70,411千円（広告費、スクール経費等のクラブ運営費） |
| 対消費者サービス | 146,953千円（宿泊費、飲食費） |
| 計 | 403,748千円 |

11. 19 ガイナーレ鳥取 vs FC東京の消費経済効果について

— FC東京戦の市内消費推計額は約3,000万円 —

(タクシー代等の交通費、入場チケット代等は含まず)

| | | |
|--------------------|----------|--------|
| ●FC東京サポーターの市内での飲食費 | 8,835千円 | (観戦前後) |
| 宿泊費 | 9,000千円 | (前後泊) |
| 土産代 | 6,152千円 | |
| ●ガイナーレ鳥取サポーターの飲食費 | 3,221千円 | |
| ●スタジアム内での飲食売り上げ | 2,500千円 | |
| 計 | 29,708千円 | |

※ アウェイ200人、ホーム300人へのアンケート結果より推計

※ 上記消費額をもとに算出した間接波及効果を含めた経済波及効果は3900万円と推計される。

FC東京戦の総括

- (1) 今シーズン最多のアウェイサポーターが来場 推計2,000人
 - ・FC東京のJ1昇格がかかる試合、土曜日開催など好条件が重なる。
 - ・前売り券の売上げは、1,500人程度。当日さらに入場者が増加。
- (2) 雨天の影響によりホーム側の観客動員が伸び悩む 総観客数 5,746人
 - ・日本代表今野選手など人気選手の出場で最多来場者数を見込んでいた。
- (3) 市内の旅館・ホテル、航空便、JR、街なかの居酒屋等、全て満室・満席に
 - ・松葉がに漁の解禁直後で「かにツアー」の宿泊客と競合。
 - ・市内の宿泊客は前泊、後泊とも600人程度(2か月前から予約)。
 - ・市内で宿泊できず周辺地域で宿泊するサポーターが多数。
(米子、岡山から鳥取へ入り、観戦後に三朝、岡山、大阪方面で泊まるなど)
- (4) 鳥取のホスピタリティの高さに感謝・称賛の声
 - ・FC東京の勝利によりJ1昇格が決定。チーム・地域が祝勝ムードを演出。
- (5) 街なか・周辺観光地への波及効果
 - ・駅前市場、かろいち・わったいな、鳥取砂丘等へ多くのサポーターが来訪。
(かに鍋まつりでカニ汁を食べ、かにを購入。砂丘に行ってきたなどの声)
 - ・市内の居酒屋が満席に(鳥取市ブースで多数のサポーターに紹介)。